

高校生のための 九州大学

医学部 生命科学科紹介

2025

Department of Biomedical Science, Kyushu University School of Medicine

DEPARTMENT OF
BIOMEDICAL SCIENCE,
KYUSHU UNIVERSITY
SCHOOL OF
MEDICINE



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY



「医学部において 生命科学を学ぶという選択」

九州大学医学部生命科学科長

新 納 宏 昭



九州大学医学部生命科学科は、平成19年に設立され、医学の素養を持った生命科学者の育成を目指しています。初期の卒業生たちは、大学院を修了し学位を取得した後、国内外の大学や研究所で研究職に就き、現在生命科学の最前線で活躍しています。

生命科学とは、広範な領域を対象とし、基礎的な内容から応用に近い内容まで多岐にわたります。現在では、理系のほぼ全学部生命科学関連の学科が存在していると思います。では、医学部にある当学科の特徴は何でしょうか？それは、ヒトという細胞種に的を絞り、その正常な状態ならびに病的な状態について、多角的かつ系統的に学ぶという点にあります。当学科の学生は、将来医師になるための医学科学生と同じカリキュラムで、基礎医学としてのヒトの生命科学を徹底的に学びます。これにより、他の学部では修得が困難な「ヒトを個体として捉える独特のセンス」を育むことができます。また、当学科の大きな特徴として、早期から「最先端の生命科学の研究現場」を経験する機会が用意されています。この2つの教育方針のもとで、医学の素養と実践的な研究能力を兼ね備えた人材を育成し、基礎医学の進歩に貢献することが当学科の使命です。

基礎医学は、生命科学や疾患のメカニズムを解明することで、未来の医療の基盤を築く学問です。最先端の技術であるAI(人工知能)や遺伝子療法のような革新的な手法を取り入れることで、基礎医学はさらなる飛躍を遂げています。すなわち、基礎医学は将来的に何億人もの患者を救う可能性を秘めています。ただ、生命科学による本質的な発見は、医学的な応用や医療に限定されず、世界観を変える重要なインパクトを持つものです。興味と学修意欲を持った皆さんが、最先端の技術と生命科学を融合させるこの学問への入学を希望し、互いに刺激し合いながら未来を切り拓いていくことを願っています。

■ 白石晃明基礎医学研究基金奨学金の設立 ■

九州大学医学部では、故白石晃明先生（昭和24年度医学部卒業）のご遺族からの寄附により、医学研究院における未来に繋がる基礎医学の活性化に資するため、白石晃明基礎医学研究基金を設立しました。

そして、基礎医学研究を志す学生の修学と研究活動を支援するため、令和6年度入学者より、成績優秀者に対して白石晃明基礎医学研究基金奨学金を支給しています。

●給付額 550,000円/年額（授業料相当額） ●給付人数 6名以内

●給付期間 最大4年間（継続申請必要）

※その他、受給要件・選考方法・募集期間等の詳細については、ホームページ等でご案内いたします。

生命科学科に興味がある方は、下記のURLに示しますウェブサイトをご覧ください。

生命科学科ホームページ

<https://www.biomed.med.kyushu-u.ac.jp/>

受験生向けサイト

<https://www.biomed.med.kyushu-u.ac.jp/juken/>



沿革／History —おもな年表—

明治 36 年 4 月 1 日	京都帝国大学福岡医科大学開設
〃 44 年 4 月 1 日	京都帝国大学福岡医科大学が九州帝国大学医科大学となる
大正 8 年 4 月 1 日	九州帝国大学医科大学は九州帝国大学医学部となる
昭和 3 年 10 月 24 日	創立 25 周年記念祝典挙行
〃 22 年 10 月 1 日	九州帝国大学医学部は九州大学医学部となる
〃 28 年 5 月 3 日	医学部創立 50 周年記念式典挙行
〃 30 年 4 月 1 日	九州大学大学院医学研究科設置
〃 48 年 11 月 24 日	創立 70 周年記念式典挙行
〃 53 年 11 月 25 日	創立 75 周年記念式典挙行
〃 58 年 11 月 5 日	創立 80 周年記念式典挙行
〃 61 年 4 月 1 日	医学研究科を医学系研究科に拡充改組、分子医学系専攻博士課程及び分子生命科学系専攻博士課程（後期3年の課程のみの博士課程）増設
平成 12 年 4 月 1 日	医学系研究科を廃止し、医学系学府（大学院教育組織）及び医学研究院（大学院研究組織）を設置
〃 15 年 3 月 8 日	創立 100 周年記念式典挙行
〃 15 年 4 月 1 日	医学研究院の8部門を基礎医学部門、先端医療医学部門、臨床医学部門、分子生命科学系部門及び医学教育学部門の5部門に、23 講座を 11 講座に再編 大学院医学系学府に医科学専攻（修士課程）が設置された 医学研究院附属統合教育研究実習センターを廃止し、全学共同教育研究施設として医療系統合教育研究センターを設置 大学院システム生命科学府の設置に伴い、大学院医学系学府分子生命科学系専攻は、同専攻学生が在学する間存続することとなった 学校教育法の改正により、大学院医学系学府医療経営・管理学専攻修士課程（専門大学院）は、同（専門職大学院）となる
〃 16 年 4 月 1 日	九州大学は国立大学法人九州大学が設置する大学となった
〃 19 年 4 月 1 日	医学部に生命科学科を設置 大学院医学系学府に保健学専攻（修士課程）を設置
〃 20 年 4 月 1 日	大学院医学系学府博士課程を1専攻に再編
〃 21 年 4 月 1 日	大学院医学系学府に保健学専攻（博士後期課程）を設置
〃 24 年 4 月 1 日	医学研究院に応用幹細胞医科学部門設置 同部門に応用幹細胞医科学講座設置
令和 5 年 12 月 16 日	医学部創立 120 周年式典挙行

医学部生命科学科案内

医学部生命科学科では、ヒトならびに様々なモデル動物を対象とした次世代の生命医科学研究と医学教育を担う人材を育成し、世界に向けて輩出することを目標としています。そのために、本学科では多様な生命活動とその分子メカニズムに興味を持ち、未知の領域を探索する旺盛な好奇心と柔軟な思考力をもつ学生を歓迎します。同時に、国際的に活躍するには高い語学力が求められます。研究のみならず語学力の向上に向け、意欲的に取り組む学生を歓迎します。

教育理念（教育理念・目標、育成する人材等）

医学部生命科学科に入学した学生は、最初に生物学と医学の幅広い基礎的知識を修得することが求められます。その後、生命医科学の最新の知識の修得を可能とするプログラムが準備されています。このような教育プログラムによって「幅広い知識と高度な専門的能力を備えた人材」、「課題発掘ならびに問題解決能力を備えた人材」、「生命医科学の研究分野でリーダーシップを発揮できる人材」、「国際的視野に立ち基礎医学教育を担う人材」を育成したいと考えています。

教育指導体制

生命科学科ならびに医学科教員が本学科の教育プログラム全般を担当します。また、必要に応じて学内の他部局の教員や他大学の教員が本学科の教育に参加します。各学年には担任を置き、個々の学生からの相談に対応します。

教育プログラムの特色・内容

生命科学科では、1、2年次において生物学や医学の基礎知識を修得するとともに、種々の実習科目において基本的な実験操作を修得します。さらに、高年次においては分子細胞生物学、高次機能制御学、生体情報科学、臨床医学等の講義（下記のキーワードを参照のこと）を通じ、最新の研究に関する知識を修得します。また、3年次に設けられた研究室配属ならびに4年次に取り組む生命科学特別研究では、希望する研究室に配属され、教員の個別指導のもとに研究を行います。生命科学特別研究では、学生一人ひとりにテーマを設定し、取り組んだ成果をまとめて卒業論文を作成しますが、この過程で研究を行う上で必要な基礎的能力を身につけることができます。

国際的に活躍する人材を養成するためには、高い英語力が不可欠です。そこで、英語教育を重視したカリキュラムを準備しています。英語論文の読解だけでなく、コミュニケーション能力の修得に向け、指導を行います。

1. 分子細胞生物学：

生化学、細胞生物学、ゲノム医科学、構造生物学、微生物学

2. 高次機能制御学：

免疫学、分子薬理学、脳・神経機能学、分子病理学、予防医学、分子疫学、発生再生医学、遺伝子・細胞療法学

3. 生体情報科学：

情報生物学、遺伝情報解析学

4. 臨床医学：

脳神経・運動器概論、循環器概論、呼吸器・造血器概論、腎・泌尿生殖器概論、周産期・成長発達医学概論、アレルギー・膠原病・感染症概論、消化器概論、心身医学・精神医学概論、内分泌・代謝・老化概論、感覚器・皮膚概論

求める学生像

生命科学科では以下の学生を求める。

ヒトを含む様々な生物の生命現象に興味を持ち、生命医科学関連領域の勉学と研究に情熱をもって臨む志の高い学生を求める。本学科では将来の生命医科学研究と医学教育を担う多数の人材を輩出するため、基礎的講義を土台に最先端の生命医科学研究を行うまでの教育プログラムを準備している。このような講義ならびに研究内容を理解するには、高校において理系科目(数学、理科(生物、化学、物理))の履修を通じ、自然科学の基礎知識を習得するとともに、文系科目(国語、英語、社会)も幅広く履修することが望まれる。また、論理的な思考に基づいて、口頭および文章で論理的な説明を行う能力を備えていることが望まれる。

求める学生像と学力3要素との関係

①知識・技能：

高等学校などにおける基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。加えて、生命医科学研究における知識・技能の習得ができる基礎的な能力。

②思考力・判断力・表現力などの能力：

論理的・多面的に考え、客観的に批判し、自分の言葉で人に伝える資質。

生命医科学に関する知識を習得し、研究に応用するための努力を惜しまない姿勢。

③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度：

ヒトおよびヒトに関係する生物が示す生命現象への興味、基礎医学研究への興味、多様性を尊重する態度、異なる考えに共感する姿勢。周囲と協調して生命医科学研究を創造・発展しようとする意欲。

入学者選抜方法

	①知識・技能	②思考力・判断力・ 表現力などの能力	③主体性を持って多様な 人々と協働して学ぶ態度
一般選抜 (前期)	大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査 個別面接	調査書 個別面接

教育の目的

医学部医学科は、医学に関する知識・技術の教育を通して、医の倫理に徹し、旺盛な探究心を有する医師および医科学研究者医学部生命科学科は、医学の素養を備えた生命科学者として将来の基礎医学研究を担う人材の育成を目的とし、本学科所定の課程を修め、下記の学修目標を達成した者に、学士(生命医学)を授与する。

参照基準

医学教育モデル・コア・カリキュラム 国際認証評価基準

- https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/iryuu/mext_00005.html
- <https://www.jacme.or.jp/>

学修目標

A. 主体的な学び

A-1. 主体的な学び

- 深い専門的知識と豊かな教養を背景とし、自ら問題を見出し、創造的・批判的に吟味・検討することができる。

A-2. 協働

- 多様な知の交流を行い、他者と協働し問題解決にあたることができる。

B. 知識・理解

- 生体の構造と機能の基本原則を分子レベルから個体レベルに亘って理解し、説明できる。
- 様々な疾病を恒常性維持の仕組みの破綻と関連づけて理解し、説明できる。
- 個体の反応と病因・病態について理解し、説明できる。
- 生命現象や疾患の解明に必要な研究について理解し、説明できる。

C. 能力

C-1. 適用・分析(知識・理解の応用)

- 英語をはじめ母国語以外の言語で生命科学を理解し、自らの考えを表現できる。
- 生命の構造と機能の理解に基づき、生命現象を解析し、その結果を解釈できる。
- 個体の反応と病因・病態を解析し、その結果を解釈することができる。
- 生命医科学分野の研究課題を設定し、解決のために実験等を計画し、実行できる。
- 生命医科学領域の研究に必要な機器やソフトウェアを正しく操作できる。

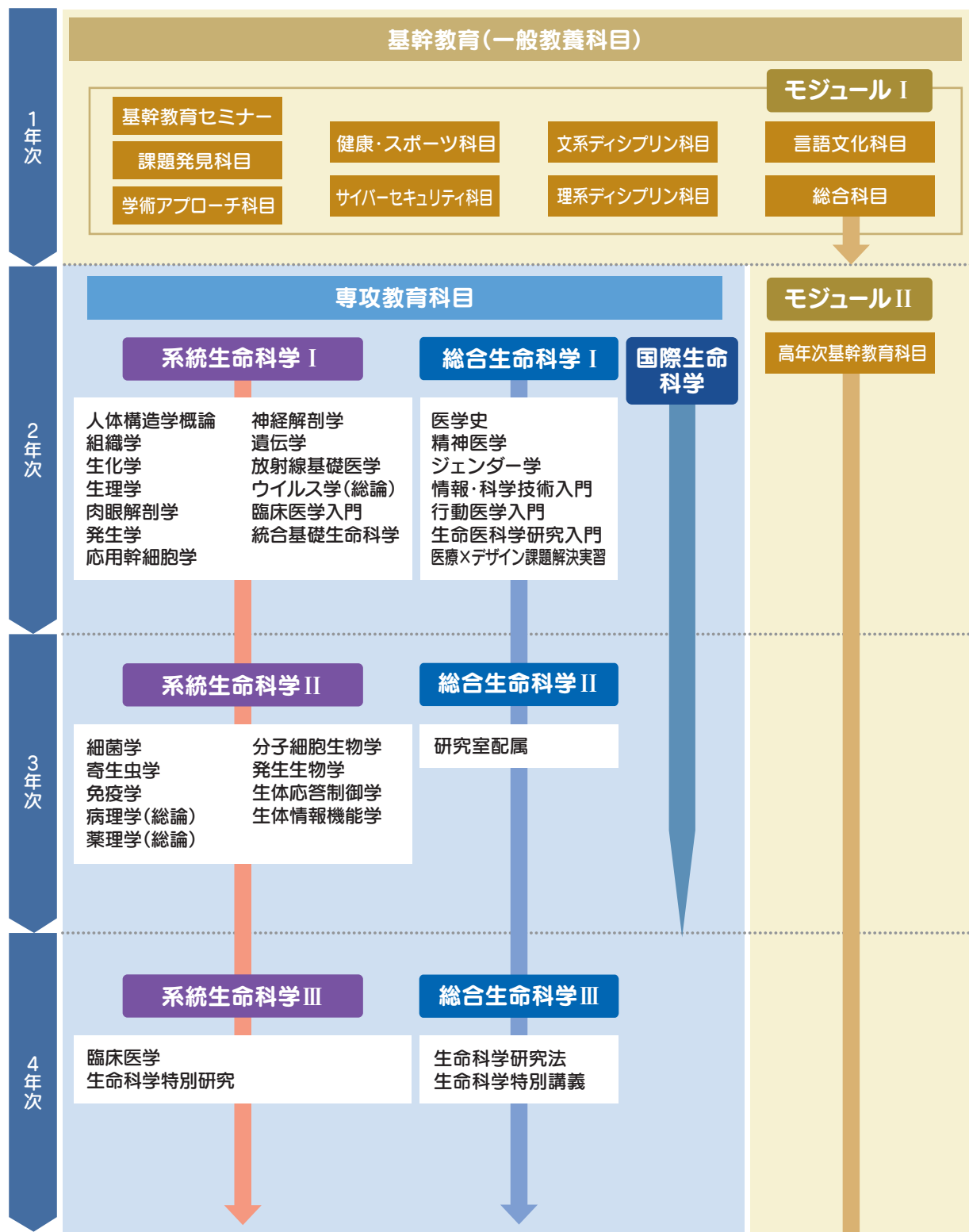
C-2. 評価・創造(新しい知見の創造)

- 生命医科学分野の論文やプレゼンテーションを理解し、批判的な考察や討論を通して新しい問題の設定ができる。

D. 実践

- 研究を通して生命医科学分野の発展に貢献しようとする意欲を持つことができる。
- 自らが持つ知識と生命医科学分野に関する知識と技術を広く社会に還元しようとすることができる。
- 生命医科学研究の発展に寄与するために、絶えず自らを省察し、周囲と協調しながら生涯にわたって学び続けることができる。

カリキュラム



※ユニット名は変更になることがあります。

学 生 / Students

(1) 学生定員及び在籍学生数 Enrollment Limit and Present Number

医 学 部

School of Medicine

(令和7年5月1日現在)

As of May 1st, 2025

	定員及び在籍学生数 Classification	1年 1st year	2年 2nd year	3年 3rd year	4年 4th year	5年 5th year	6年 6th year	合計 Total
医 学 科 Department of Medicine	定 員 Enrollment Limit	105	105	105	110	110	110	645
	在籍学生数 Present Number	109 (32)	129 (31)	114 (28)	105 (34)	120 (27)	114 (22)	691 (174)
生命科学科 Department of Biomedical Science	定 員 Enrollment Limit	12	12	12	12			48
	在籍学生数 Present Number	14 (9)	20 (12)	14 (6)	8 (3)			56 (30)
保健学科 Department of Health Sciences	定 員 Enrollment Limit	134	134	134	134			536
	在籍学生数 Present Number	147 (110)	130 (108)	151 (117)	134 (112)			562 (447)
合 計 Total	定 員 Enrollment Limit	251	251	251	256	110	110	1,229
	在籍学生数 Present Number	270	279	279	247	120	114	1,309

Figures in parentheses indicate the number of female students.

* ()内は女子で内数を示す。

大学院(修士課程)

Graduate School(Master's Course)

(令和7年5月1日現在)

As of May 1st, 2025

専 攻 名 Course	定員及び在籍学生数 Classification	1年 1st year	2年 2nd year	合計 Total
医科学専攻 Master Course in Graduate School of Medical Sciences	定 員 Enrollment Limit	20	20	40
	在籍学生数 Present Number	30	17	47
保健学専攻 Master Course in Graduate School of Medical Sciences, Department of Health Sciences	定 員 Enrollment Limit	27	27	54
	在籍学生数 Present Number	32	29	61
合 計 Total	定 員 Enrollment Limit	47	47	94
	在籍学生数 Present Number	62	46	108

大学院(専門職学位課程)

Graduate School(Master's Course)

(令和7年5月1日現在)

As of May 1st, 2025

専 攻 名 Course	定員及び在籍学生数 Classification	1年 1st year	2年 2nd year	合計 Total
医療経営・管理学専攻 Health Care Administration and Management	定 員 Enrollment Limit	20	20	40
	在籍学生数 Present Number	15	26	41
合 計 Total	定 員 Enrollment Limit	20	20	40
	在籍学生数 Present Number	15	26	41

大学院(博士課程)
Graduate School(Doctor's Course)

(令和7年5月1日現在)
As of May 1st, 2025

専攻名 Course	定員及び在籍学生数 Classification	1年 1st year	2年 2nd year	3年 3rd year	4年 4th year	合計 Total
医学専攻 Department of Medical Sciences	定員 Enrollment Limit	107	107	107	107	428
	在籍学生数 Present Number	135	116	107	150	508
保健学専攻 Doctor Course in Graduate School of Health Sciences	定員 Enrollment Limit	10	10	10	—	30
	在籍学生数 Present Number	10	7	20	—	37
合 計 Total	定員 Enrollment Limit	117	117	117	107	458
	在籍学生数 Present Number	145	123	127	150	545

* 保健学専攻は博士後期課程

(2) 学部卒業生数 Number of Graduates

(令和7年5月1日現在)
As of May 1st, 2025

		令和 4年度 2022	令和 5年度 2023	令和 6年度 2024	平成3年7月1日 以降の卒業者数 (累計) Total (1991.7.1~2025.3.31)
医 学 科 Department of Medicine		109	120	100	3,570
生 命 科 学 科 Department of Biomedical Science		12	10	16	186
保健学科 Department of Health Sciences	看護学専攻 Nursing Course	73	65	65	1,329
	放射線技術科学専攻 Radiological Sciences Course	35	33	30	650
	検査技術科学専攻 Medical Technology Course	31	34	27	656
	小計 Total	139	132	122	2,635
計 Total		260	262	238	6,391

* 医学部保健学科は、平成14年10月に九州大学医療技術短期大学部を改組して設置。第1回卒業生は平成19年3月。
Department of Health Sciences was founded in Oct. 2002. The first graduating class was in March, 2007

医学部(医学士)卒業生 学部(旧制)累計 ————— 4,766名
School of Medicine(Old system)
学部(新制 昭和24年以降入学~平成3年6月30日卒業)累計 3,858名
School of Medicine(New system 1949~1991.6.30)
医学専門部累計 ————— 838名
Medical College

令和8年度入学者選抜の基本方針(入学要件、選抜方式、配点等)

入学定員：12名 一般入試(前期日程12名)

(1) 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

前期日程

	国 語	地理・歴史	公民	数 学	理 科	外国語	情 報	面 接	計
大学入学共通テスト	100	50		100	100	100	25	—	475
個別学力検査	—	—		250	250	200	—	100	800
計	100	50		350	350	300	25	100	1,275

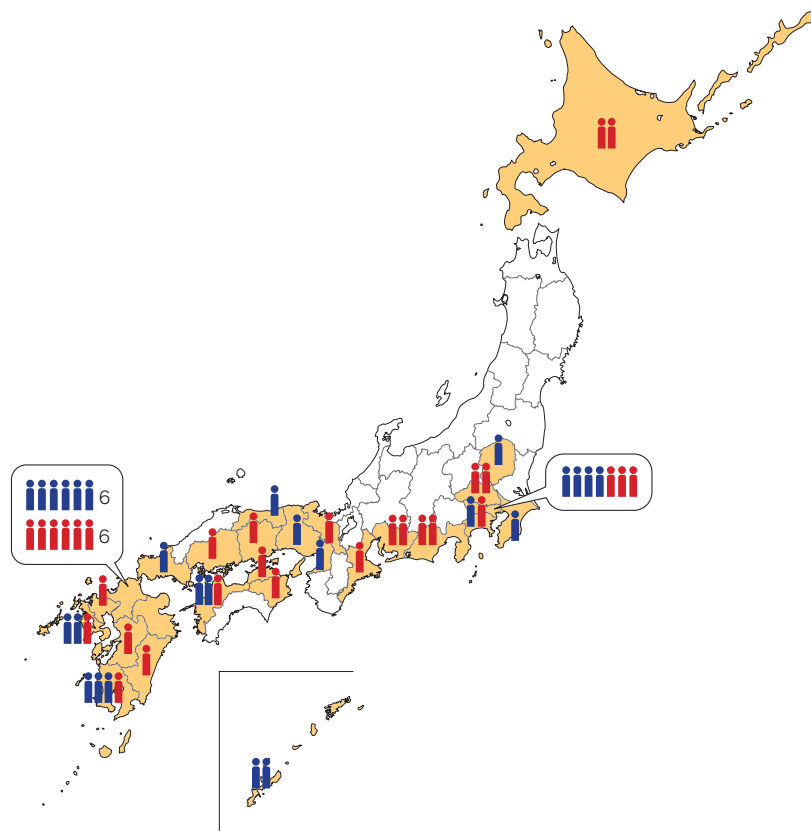
(2) 個別学力検査実施教科・科目等

前期日程

	数 学	理 科	外国語	面 接
科 目	数 学 I 数 学 II 数 学 III 数 学 A 数 学 B 数 学 C 6科目	物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 2科目選択	英 語 英語コミュニケーションI,II,III 論理・表現I,II,III 1科目	
配 点	250(150分)	250(150分)	200(120分)	100

出身高校所在地別 在学生の分布

生命科学科在学生の出身地は、下図に示すように小さいながらも日本中から学生が集まる学科です。全国各地から集まった仲間達と共に学ぶ中で、人間性をより豊かなものにする新しい出会いが待っています。

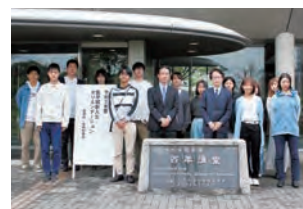


		1年生		2年生		3年生		4年生		計
		男 性	女 性	男 性	女 性	男 性	女 性	男 性	女 性	
北海道	北海道		1		1					2
関東	栃木県			1						1
	埼玉県				1		1			2
	千葉県			1						1
	東京都			1	2	1	1	2		7
	神奈川県	1	1							2
中部	静岡県		2							2
	愛知県				1		1			2
近畿	三重県				1					1
	京都府		1							1
	大阪府			1						1
	兵庫県	1								1
中国	鳥取県			1						1
	岡山県				1					1
	広島県		1							1
	山口県	1								1
四国	徳島県				1					1
	香川県								1	1
	愛媛県			1			1	1		3
九州	福岡県	1	1	1	2	3	2	1	1	12
	佐賀県				1					1
	長崎県		1			2				3
	熊本県				1					1
	宮崎県								1	1
	鹿児島県	1	1	1				1		4
	沖縄県					2				2
計		5	9	8	12	8	6	5	3	56
		14		20		14		8		

キャンパスカレンダー

4月

入学式
新入生オリエンテーション



新入生オリエンテーション

入学式

5月

教職員との懇親会

6月

前期研究室配属（3年）

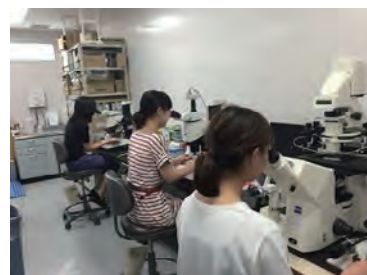


教職員との懇親会

7月

8月

夏期休暇
オープンキャンパス



研究室配属

9月

10月

国際生命科学Ⅱ：
英語によるポスター発表（3年）
後期研究室配属（3年）



国際生命科学Ⅱ：英語によるポスター発表

11月

九大祭



九大祭

12月

1月

2月

卒業研究発表会（4年）

3月

卒業式（4年）



卒業式



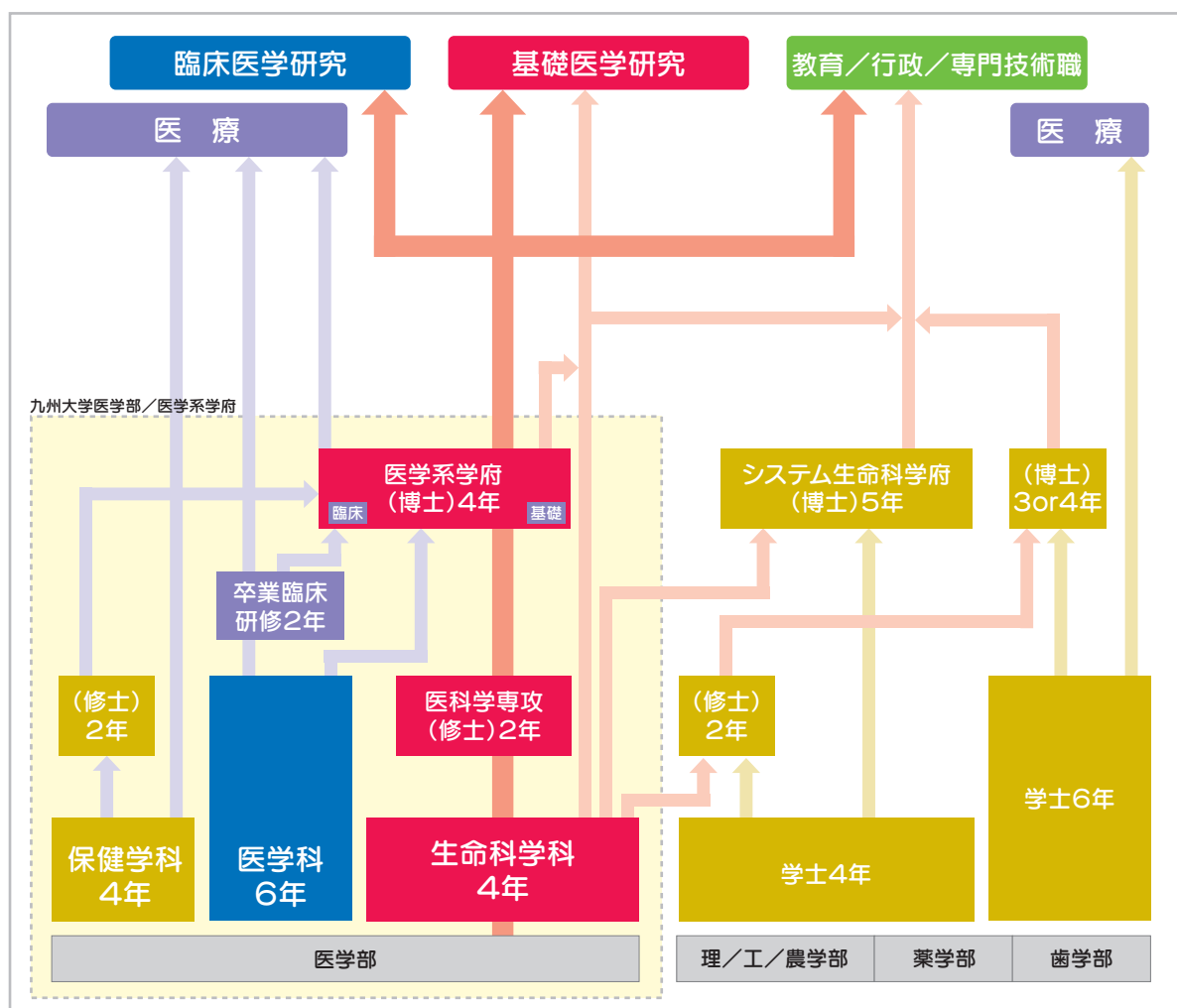
卒業研究発表会

卒業生の進路

生命科学科の卒業生の多くは、本学科で経験した研究室での研究を発展するべく、大学院修士課程に進学しています。

進 路	令和3年3月	令和4年3月	令和5年3月	令和6年3月	令和7年3月
九州大学大学院医学系学府	7	8	9	9	11
九州大学大学院システム生命科学府	3	1			1
他大学大学院	4	2	3		1
その他（就職等）	2	1		1	3

進路の系統図





4年 大迫 瑞季

生命科学科4年、16期の大迫瑞季です。

今回は、僕が生命科学科を目指した理由と、この学科ならではの魅力について説明しようと思います。

僕がこの学科を目指したきっかけは、身近に難病を抱える方がいたことです。何か力になれないかと考え、はじめは医学科や医工学科に関心を持っていました。しかし、治療だけでなく根本的な原因の研究の必要性を感じ、進路に迷っていた時期に担任の先生から生命科学科のことを教えてもらいました。それから基礎医学の道に進もうと思うようになりました。

生命科学科には、ほかの学科にはない大きな利点があります。例えば、学部3年生から研究室に配属され、早くから研究活動を始められることです。自発的に2年生の頃から研究室に行くことも可能です。また、医学科と同じ講義を受けるため、医学について深く学ぶことができます。さらに、研究者を目指す人に特化したカリキュラムが整っており、専門性の高い教育を受けることができます。人数が少ない分、学年を超えたつながりも強く、先輩・後輩と活発に交流できるのも特徴の1つです。もちろん、医学部にあるため医学科の友達もでき、人間関係の幅も広がります。研究や勉強は決して楽ではありませんが、同じ目標に向かって励まし合える仲間の存在はとても心強いです。

最後に、いまこれを読んでくださっている方の中には、将来の進路について不安を感じている人もいるかもしれません。僕自身も4年生になった今でも迷うことはあります。しかし、そんな時こそ「自分は何をしたいのか」「どんな人になりたいのか」と向き合うことが大切だと思います。生命科学科は、基礎医学研究者を目指す方にとって、これ以上ないほど恵まれた環境だと思います。医学部の中にあるということは大きな強みだと4年間の学生生活を通じて実感しています。ちょっとでも、興味を持った方はぜひ勇気をもって受験してみてください。この文章を読んでくださった皆さんと会えるのを楽しみにしています。ぜひ一緒に、研究の道を歩んで行きましょう。



4年 片之坂 優奈

はじめまして。私は生命科学科16期生、4年の片之坂優奈です。

受験生の皆さんへメッセージを書く貴重な機会を頂いたので、私からは入学してから実際に感じたことなどを通して、少しでも九大生命科学科の魅力をお伝えできたらいいと思います。

まず初めに、学部1年生の1年間は伊都キャンパスで他学部の学生と一緒に様々な科目を幅広く学ぶことができます。この1年間は医学に関する必修授業はありませんが、自分の興味のある科目を選択することが出来ることに加え、時間的余裕もあるため様々な体験をすることが出来ると思います。2年生から病院キャンパスでの生活が始まり、3年生の前期(7月ごろ)までは医学科の学生と一緒に基礎医学を学びます。基礎医学と一括りにしても科目数はとても多く、勉強量も多くなり大変でした。しかし最新の研究の話も交えてお話ししてくださる先生もいらっしゃる、内容はとても興味深いものでした。3年生になると授業内容も臨床に寄ったものになりますが、これらの知識は全て研究をする上での土台になっているように感じます。生命科学科では、医学科の学生と同じ授業を受けることができるので、医学について深く学ぶことのできる点が大きな魅力の一つであると感じます。

そして3年生の後期から授業に加えて研究室配属が始まり、実際に自分の興味のある研究室で研究活動を行うことができます。生命科学科の研究室配属は他の学部と比べて早期に始まる点と、最大で5つの研究室をまわることができる点が大きな魅力であると感じます。私自身も3つの研究室にお世話になりましたが、どの研究室での経験も今の研究活動の大きな糧になっているように思います。4年生になると本格的に研究室に所属し自分のテーマを見つけて研究活動を行います。初めての研究で不安に思うことも多いですが、2～3年生で学んだ基礎医学の知識が土台となり、日々の研究活動に励むことができます。

生命科学科は1学年12人ほどで人数は少ないですが、その分横のつながりも縦のつながりも強いと思います。互いに切磋琢磨し合える仲間と出会うことができ、充実した環境で学ぶことができるのは九大の生命科学科ならではの感覚だと思います。医学研究に興味がある方、まだ進路に迷われている方など、いろいろな方がいらっしゃると思いますが、このメッセージが少しでも進路選択の役に立てばいいと思います。最後まで読んでくださり、ありがとうございました。皆さんとお会い出来るのを楽しみにしています。

建物配置図 CAMPUS MAP



⑬ ナイチンゲール誓詞の碑



⑩ 郭沫若先生顕彰碑



⑪ ヒポクラテスの木



⑦ 釜掛の松



⑧ 長塚節逝去の地



⑨ 九大生協食堂



⑫ 医学図書館



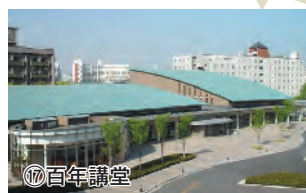
⑬ 医学部正門



⑭ 医学部75周年記念庭園



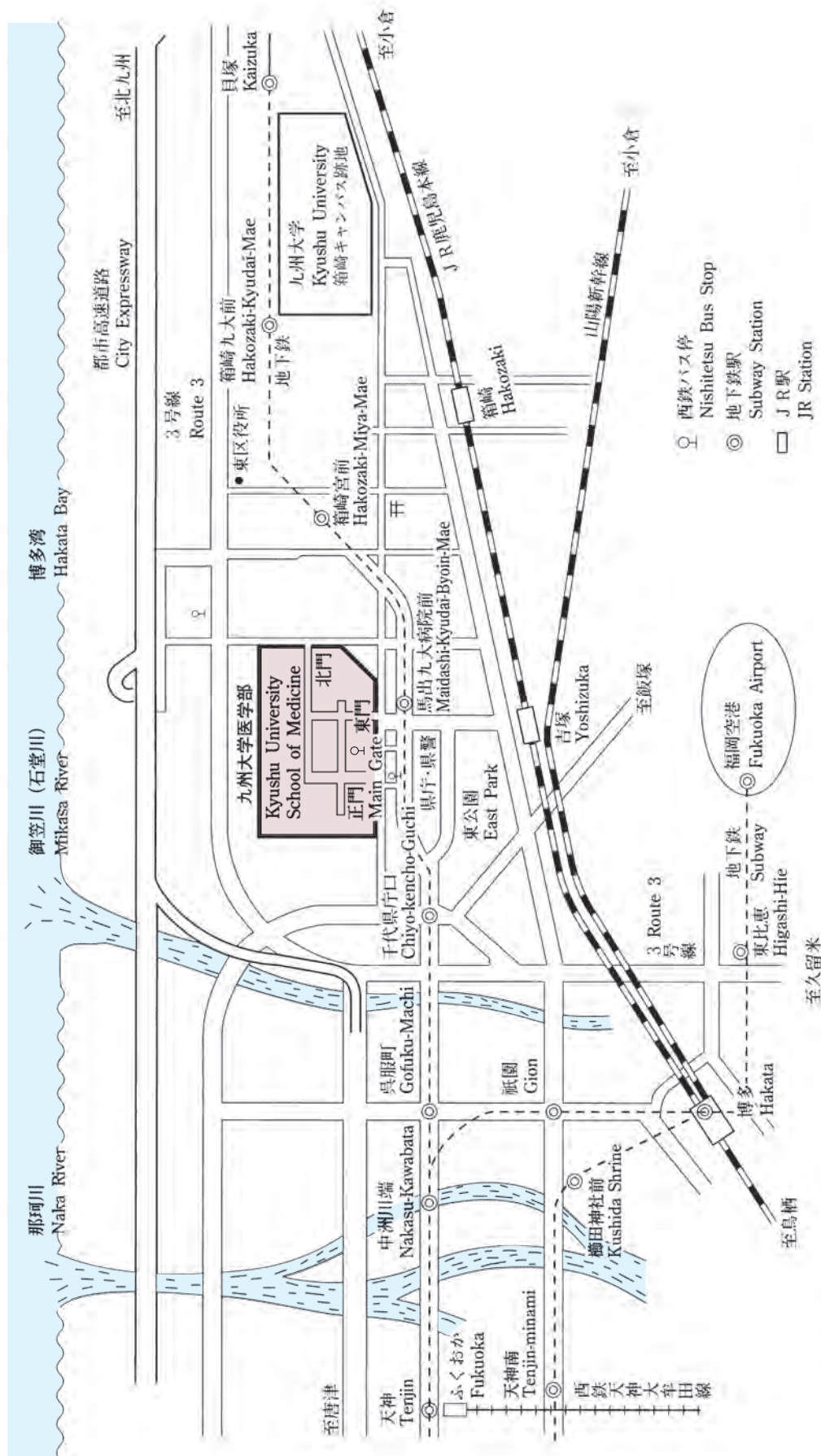
⑮ 神の手



⑯ 百年講堂



⑯ 慰霊塔「崇高な精神」



○ 博多駅から地下鉄（中洲川端駅で乗り替え）で約10分

Subway service from Hakata Station to Maidashi-Kyudai-Byoin-Mae is a 10 minute ride, but, necessary to change trains at Nakasu-Kawabata on the way

○ 博多駅から西鉄バス（系統番号10番九大前又は吉塚営業所行き）で約15分
Nishitetsu bus service, No. 10 Kyudai-Mae or Yoshizuka-Eigyosho-Yuki, from Hakata Station to Kendo-Kyudai-Mae is a 15 minute ride

○ 福岡空港からタクシーで約20分
20 minute taxi ride from Fukuoka Airport

○ 福岡インターチェンジから約20分
20 minute car ride from Fukuoka Interchange



DEPARTMENT OF BIOMEDICAL SCIENCE, KYUSHU UNIVERSITY SCHOOL OF MEDICINE



Kyushu University
School of Medicine
Department of Biomedical Science

九州大学医学部生命科学科ホームページ
<https://www.biomed.med.kyushu-u.ac.jp/>



受験生向けサイト
<https://www.biomed.med.kyushu-u.ac.jp/juken/>

